

# 家庭菜園相談室

**Q** 野菜の年間栽培計画を立てたいと思います。どんなことに注意すれば良いですか？

**A** まずは、連作障害に注意しましょう。図1のように畑を大きく4つのブロックに分けて、毎年栽培する野菜を順番に交替していくと良いでしょう。また、前作にどのような野菜を栽培したかにより、肥料の量も変わってきますので注意が必要です。例えば、サツマイモの前作に肥料を多く与える作物を作ると、ツルボケでイモの収穫ができなくなってしまいます。その逆で、トウモロコシの前作に豆類を作ると、根粒菌の活動で窒素肥料が土の中に多く残り、肥料が有効に使えます。栽培の日記等を作成し、いつ・どこで・何を・どのように栽培したか、後から分かるように記録を残すようにしましょう。

図1 作型目安

ブロック	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
1区 (ナス科主体)			ナス													
			ピーマン													
		トマト						小松菜								
		春ジャガイモ						ホウレンソウ								
2区 (ウリ科主体)			キュウリ(1回目)						キャベツ(年内~冬どり)							
							キュウリ(2回目)				キャベツ(年内~春どり)					
			スイカ						ダイコン・カブ							
			カボチャ						ハクサイ(年内~冬どり)							
3区 (マメ科主体)			インゲン(春どり)						チンゲン菜・水菜							
			ネギ(育苗)						インゲン(秋どり)							
			枝豆						ネギ(本ポ)							
			サツマイモ										エンドウ・ソラマメ			
4区 (その他)			トウモロコシ						ホウレンソウ							
							オクラ									
			モロヘイヤ						ホウレンソウ							
							サトイモ									

※毎年ブロックごとに作付ける品目を輪作します。この表を1年目とすると2年目は1区に2区の品目を2区に3区の品目を作付けます。

**Q** 接木苗を植えると連作障害が出にくいと聞きましたが、メリット・デメリットを教えてください

**A** ○接木苗のメリット

・連作障害・病害虫に強い

連作障害に耐性のある台木を接ぐことで連作障害に強い苗ができます。青枯れ病に強いトマトやミニトマト、ネコブセンチュウに強いキュウリやゴーヤなど連作障害に強い接木苗を使うと輪作や土壌消毒をしなくても連作が可能になります。また、病害虫に抵抗性のある台木を接ぐことで、病害虫に強い苗ができます。病害虫に対する心配が減り農薬の散布量を減らすこともできます。

・環境ストレスに強い

寒さや暑さ、乾燥など環境ストレスに強い台木を継ぐことで、環境に強い苗を作ることができます。

○接木苗のデメリット

・価格が高い

病害虫に強いといった付加価値の高い接木苗は、普通の苗に比べて2倍ほど高値で販売されています。

・台木の芽かきが必要

台木から出てきたわき芽をそのままにしておくと、穂木に十分な栄養が行き渡らないので台木の芽かきが大切です。

・接木苗を作るには技術と手間がかかる

接木苗がおすすめの野菜 ・ トマト・ミニトマト・ナス・キュウリ・メロン・スイカなど